

7 平成 25 年度横浜市立図書館の目標と振り返り

| 目標1 司書の専門性を発揮したサービスを充実します。〈サービス目標〉 | | | |
|------------------------------------|---|---|----|
| 取組項目 | 具体的取組 | 実施状況 | 評価 |
| 蔵書再構成5か 年計画の実施 | <ul style="list-style-type: none"> ●中間振り返りを踏まえ、市民の課題解決に役立つ資料の収集を進めます。 ●寄贈図書の積極的な受入を推進します。 ●除籍資料の有効活用を推進します。 ●地域資料等の収集及びデジタル化を進め、利用の拡充を図ります。 ●定番図書など市民の課題解決に役立つ資料の重点収集を継続します。 ●子どもの本コーナー、ティーンズコーナーでは、調べ学習や読書活動支援のための定番図書、参考図書の充実を進めます。(通年) | <ul style="list-style-type: none"> ●参考図書等、調査研究に役立つ資料を重点的に収集しました。(3,777 冊) ●寄贈の呼びかけを恒常的に行い、受け入れ冊数が増加しました。(45,469 冊、対前年度比 107%) ●データベース「都市横浜の記憶」に地域の写真資料を 400 点追加しました。 ●児童書では調べ学習に役立つ資料、定番図書の買い替えなどを積極的に進めました。 | B |
| 子ども読書活動 の支援 | <ul style="list-style-type: none"> ●子どもの読書活動や調べ学習を支援する展示や企画事業を実施します。 ●保護者、保育者、ボランティア等、対象に応じた読み聞かせやわらべうたに関する講座を実施します。 ●児童サービスの向上のために、司書を対象とした児童サービスに関する研修を実施します。 ●関係部署と連携し、教職員や学校ボランティア等による学校図書館運営や環境整備を支援します。また、学校での読書活動推進を支援します。 | <ul style="list-style-type: none"> ●子どもの読書活動や調べ学習を支援する事業の実施回数 1,515 回(対前年度比 112%)、参加人数 31,390 人(対前年度比 104%) ●保護者・保育者向け読み聞かせ講座の実施回数 39 回(対前年度比 139%)、参加人数 1,510 人(対前年度比 274%) ●教職員・ボランティアへの支援件数 466 件(421 件、対前年度比 111%) ●教職員向け貸出冊数 44,022 冊(40,465 冊、対前年度比 109%) | B |
| 市民の学習活動・ 課題解決の支援 | <ul style="list-style-type: none"> ●レファレンス*体制を充実させ、市民の課題解決を支援します。 ●大学・研究機関・関係局区等との連携を進め、レファレンスサービスを強化します。 ●市民の学習活動や課題解決を支援するため、様々な講座や企画展示等を実施します。 <p>*レファレンスとは、利用者の調べものや資料の相談などに対し、必要とする図書館資料の紹介や提供、情報入手の手助けを行うことです。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ●レファレンスサービスについて広く市民に広報しました。 ●地域情報コーナー、子育て支援コーナーなどのコーナーを設置しました。既にあるコーナーも資料の充実をはかりました。 ●多岐にわたるテーマでパネル展示や講座・講演会を行い、市民の課題解決を積極的に支援しました。(事業開催件数 690 回、対前年度比 101%) | B |
| 地域と連携した読 書推進活動の充 実 | <ul style="list-style-type: none"> ●地域で活動するボランティア向けの講座の開催や地域の読書施設の運営相談を行います。 ●図書館で活動するボランティアの支援や育成を行い、市民との協働による活動を進めます。 ●地域と連携した企画事業を実施し、地域とともに読書推進活動を充実します。 | <ul style="list-style-type: none"> ●修理等ボランティア講座の実施回数・参加人数(55 回・894 人。対前年度比増) ●ボランティア活動回数・参加人数(1,956 回・5,990 人。対前年度比 116%) ●地域と連携した企画事業の実施(827 回。対前年度比 327%) | B |

| | | | |
|------------|---|---|---|
| 多文化サービスの展開 | 外国につながる子どもたちの図書館利用を進めるため、市民と協働して外国文化を紹介する展示や外国語での見学会・おはなし会等の企画事業を実施します。 | 外国につながる子どもたちを対象とした事業件数・参加人数(母語によるおはなし会(5回・34人、対前年度比回数42%)の他、外国の文化を紹介するおはなし会や講演会、企画展示等を計37回、参加人数725人実施しました。(対前年度比回数168%) | C |
|------------|---|---|---|

| 目標2 効率的で効果的な図書館の管理運営を推進します。〈管理運営目標〉 | | | |
|-------------------------------------|--|--|----|
| 取組項目 | 具体的取組 | 実施状況 | 評価 |
| 司書人材育成計画に基づく人材育成の推進 | 「司書人材育成計画」等に基づき、司書の専門性向上と人材育成に係る研修等を計画的に実施します。 | <ul style="list-style-type: none"> ●図書館内のみならず、外部で行われる研修にも積極的に参加し、司書の専門性向上や業務に必要なスキルを学びました。 ●基礎研修及び専門研修回数(33回、対前年度比114%) | C |
| 地域図書館の管理運営手法の総合的検討 | <ul style="list-style-type: none"> ●山内図書館指定管理者選定評価委員会を開催します。(中央図書館、年5回程度) ●司書補助業務委託導入館(都筑図書館・戸塚図書館)について、平成23年度からの実施状況に関する評価を行います。 ●地域図書館の管理運営のあり方について、図書館内プロジェクトによる検討を行います。 | <ul style="list-style-type: none"> ●山内図書館指定管理者選定評価委員会を5回開催し、平成24年度の年度評価とともに、指定管理中間期の総合的評価を行い12月に報告書を作成し、公表しました。 ●平成23年度からの実施状況を検証し、その業務実績や効果等を8月の地域図書館あり方検討の中間報告に反映させました。 ●地域図書館の管理運営あり方検討プロジェクトを11回実施し、8月、12月の中間報告を経て、「地域図書館のあり方」としての全庁的な承認に向け検討を進めています。 | C |
| 市民の意見が反映される仕組みづくり | 利用者懇談会・ボランティア団体等の交流会等の実施を踏まえ、市民の意見を反映できる仕組みづくりを推進します。 | 地域図書館全館で利用者懇談会を実施し、市民の意見を積極的に活かす取組を進めました。 | B |
| 身近で便利な図書館サービスの充実についての検討 | 市民に身近で便利な図書館サービスポイント設置に必要な整備計画策定に向けた調査・検討を行います。 | 図書館サービスポイント整備に向け、調査を実施するとともに、図書館あり方検討と関連して関係局区等との調整を進めています。 | B |
| 市立図書館における業務内容の見直し | <ul style="list-style-type: none"> ●自主財源の確保及び経費の節減を図り、広告事業等歳入確保について積極的な検討を進めます。 ●図書館情報システムの円滑な運用を推進し、より使いやすいサービスになるよう検討・改修を進めます。 | <ul style="list-style-type: none"> ●雑誌カバー広告など新規事業に取り組みました。 ●節減額 5,741千円(対前年度比 67.3%) ●図書館情報システムの改修を2回に分けて実施し、業務手順の見直しとマニュアルの整備を行いました。 | C |

目標3 市民にとって利用しやすい快適な図書館づくりを進めます。〈独自目標〉

| 取組項目 | 具体的取組 | 実施状況 | 評価 |
|----------------|---|--|----|
| 市民への広報の充実 | ホームページなどの広報媒体を有効に活用し、対象に合わせたわかりやすい情報提供を進めます。 | 地元ケーブルテレビでの放映や、ミニコミ紙や広報紙での定期的な連載、ホームページの内容の充実など積極的な広報活動を進めました。 ●広報掲載実績 793件（対前年度比 118%） ●ホームページアクセス件数 6,029,130件（対前年度比 93%） ●記者発表数 27件（対前年度比 93%） | B |
| 利用しやすい図書館環境の整備 | ●図書館における窓口サービスや電話対応の向上について、職場で討議し、目標をあげて取り組みます。 ●書架や施設の案内について、よりわかりやすい掲示を行います。 | ●始業時の打ち合わせ等で事例の発表をするなど、反省すべき点も含めて全員で情報共有を進めました。 ●あいさつの励行など、窓口や電話などのご案内の際により印象を持ってもらえるよう努めました。 ●館内のサイン、書架の案内などを見直し、必要としている資料をすみやかに見つけれられるよう改善に努めました。 | B |
| 節電・省エネルギーの推進 | 空調・照明等の管理を引き続き行い、エネルギー消費量を節減します。 | 各館で日常的に節電に取り組み、緑のカーテンの設置、空調工事などを実施しました。 ●電力使用量 2,769千KW（対前年度比 100%） | C |

※取組の評価について

評価は図書館内の評価です。

| 評価 | 内容 |
|----|---------------------------------------|
| A | 優れた取組があり、目標を大きく上回る成果があった。 |
| B | 目標どおり取組を実施し、目標を上回る成果があった。 |
| C | 目標どおり取組を実施し、一定の成果をあげた。 |
| D | 目標どおりの取組ができなかったため、十分な成果をあげることができなかった。 |
| E | 実施できていない。課題の整理、計画の見直しが必要である。 |